

【実施区域・面積】

岐阜県、33ha

【生態系タイプ】

人工林

【実施区域の状況】

本サイトは、岐阜県立森林文化アカデミーの演習林であり、日常的に林業関連職種への就職を目指す学生の実習地として使われている他、森林に親しむ近隣住民にも開かれた環境である。本サイトの93%が針葉樹の人工林であり、その80%をヒノキが占めている。

【目標】

教育機関として、間伐や植林などの林業に関する実習が行うとともに、伐り出した木材を建築・木工といった林産業に関する学び、森林環境教育の中で利活用し続けていく。また、森林整備に関する実習等では生物多様性に配慮した持続可能な森林管理を行うことで、自然と人との新しい関係を追及しながら、SDGsなど持続可能な循環型社会の創造に、森林の視座から寄与できる人材を育成する。さらに、この活動を通じて生物多様性が豊かな森林を守ることで、生態系サービスを恒久的に享受できる社会の構築への貢献を目指す。

【主な活動内容】

植林、下刈り、間伐、枝打ち等の森林整備を行う。また、全区域で森林蓄積、植物、生息する鳥類、哺乳類を対象とした定期的なモニタリングなどを行う。

【モニタリング計画】

実施区域内の森林蓄積、植物、生息する鳥類、哺乳類を対象として調査を行う。実施区域を5つに区分し、毎年1区分を調査することで、5年周期で全域をモニタリングすることとする。

【実施体制】

岐阜県立森林文化アカデミーが中心となって森林整備、モニタリング等の保全活動を行う。



皆伐地での地拵え・植栽実習



高性能林業機械による伐採搬出実習



コシアブラの天然更新のため
間伐したスギ林



キハダ・オニグルミ植栽エリアの
獣害対策

【計画期間】

令和7年12月～令和12年11月